

フォーグリーンだより NO.11

緑は生命 しあわせ ふれあい

発行 2016年3月
NPO法人ひょうご宝塚園芸福祉協会
宝塚市中山寺3丁目1-14
TEL & FAX 0797-86-0619

10周年感謝祭 開催しました

NPO法人設立足かけ10周年を迎えるにあたり地域の所縁の皆様への感謝と会員の親睦交流を兼ね、11月8日(日)感謝祭を開きました。生憎の空模様でしたが、会場のゆうゆうガーデンでは焚き火をし、雨避けテントの下で三々五々集まって乾杯! ゆうゆうガーデン産の焼き芋がふるまわれました。

一番の盛り上がりは菓子食い競争で、狭いテントの下ですくすく塾生が何度もチャレンジしてお菓子をゲット、子ども達の元気な姿に参加者一同癒されました。わくわくファームの会場では寄せ植え講習会を実施。クリスマス用スノーボールとお正月用獅子舞のピックを添え、華やかでお洒落な寄せ植えが好評でした。



10周年おめでとうございます

宝塚市社会福祉協議会 高木 厚子
ひょうご宝塚園芸福祉協会 創立10周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。
10年間みなさんの努力・熱い心・人の5倍動くその精力的な活動その功績に対して深く敬意を表します。「本当にすごいこと」

思い起こせば、10年前、私が社協長尾地区センターの担当になり、地域の多くの方々と素敵な出会いがありました。地元の植木屋さんとの出会いも多くあり、100年前パリ万博に山本から牡丹が出品された事。平井駅があった事等々、初めて耳にすることが多かったです。その中でも「フィトンチッド」の森林浴の効果・木々の役割「へえーそうやったんや」の連発でした。

その時の出会い・つながり・知識は今も私の長尾地区センターでの自慢話になっています。

花は美しさ・かわいさで人の目を楽しませるだけではなく、季節を告げてくれたり・人と人を合わせ・つなぎ・広げ・人の心を動かし、また社会の課題を解決し多くの人々を喜ばせ、人生を変え、社会も変えていく力がありますね。一輪の花は100人の人、いやもっと多くの人々を動かすことができます。植物自体は一步も動かないのに奥が深い素晴らしい存在です。

「植木のまち宝塚」1000年の歴史の山本だからこそ新しい福祉の形を地域へ発信でき、その活動の意味もあると思います。

これからのみなさんの益々の発展・活躍を心より、お祈りいたします。



楽農すくすく塾

すくすく塾では4名の講師が順番で先生役を担って子どもたちの指導に当たっています。講師から一言

中坊 稔

塾生の皆さん、君たちの元気一杯のエネルギーに振り回されつつも、明るく素直な一面に癒されています。ありがとう。

土づくりでの「苦勞と我慢と忍耐」・野菜育成での「観察力と優しさ」・収穫時での「楽しさと満足感」すくすく塾では色々の経験と体験ができます。すくすく塾の歌の通りです。♪「すくすく塾での経験は必ず生きるよ これからも これからも」♪ 今後とも基本は優しく、時には厳しく指導しますので、よろしくをお願いします。

斉藤 信雄

先年、私にはビックリしたというか大変驚いた事がありました。

それは散歩中いきなり、見知らぬ少年に名前を呼ばれ挨拶されたことです。瞬時には、だれか分かりませんでしたが大きく成長した塾生でした。

7年前、野菜作りの知識、経験が全く無い私がスタッフとして塾に入るも塾生の質問にも答えられず、ましてや教えることの難しさに辞めようと思い悩んだ事もありました。

その少年に、当時は大変お世話になり有難うございましたと言われ、本当に嬉しく感無量でした。



～活動日～
毎月第二・第四土曜日
時間は季節によって
変動します
28年度8期生
若干名募集中

立川 和夫

「クワはこちらからこうして掘るんだよ」「大根の畝は小石を取って、深く細かく耕そうね」「苗は丁寧に植えようね」こうして植えた野菜に花が咲き、見事な実を付けます。出来た野菜を収穫する時が子ども達が一番いきいきするときです。「木の枝に落花生が成ると思っていた！」落花生に花が咲き、土の中から落花生を収穫する時は驚きで一杯でした。土を耕すより蝶々や虫を捕まえるのに夢中になることも。それもこれも子ども達の脳裏に織り込まれていくことなのでしょう。私もすくすく塾で子ども達にパワーをもらっています。今年も美味しい野菜を作ろうね。

松浦 茂

すくすく塾も今や常時10名弱の児童が参加して、スタッフ一同は嬉しい悲鳴と元気に動き回る塾生達に戸惑いを感じている今日この頃です。入塾している児童は一人々は素直で元気な子ども達ですが、塾生達が集団になるとチェリー畑は絶好の「遊び広場」にかわり「学びの畑」とは感じていない様に見受けられます。しかし最近の子ども達は何かと塾通いに行っている様でその塾通いの中でも「すくすく塾」は彼らの中では「息抜き」になっているのではと思い、遊びながらの畑仕事で収穫した経験が記憶に残って大人になった時にプランターなどで「自産自消」を再現して欲しいものです。



今日の作業を
畝の図を見なが
ら説明します



恒例の新年塾
初めの日
お餅つきで盛り
上がります



みんなと一緒にできることがうれしい

駒井 高樹

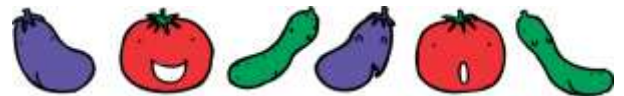
ぼくは、畑に兄が通っていることがうらやましく思いました。数カ月がたち兄は中学生になったので畑を辞めました。そこでぼくが入れさせてもらいました。うれしかったです。ぼくは同じクラスだった岸下さんに畑に入らないかと進めました。それから岸下さんは来るようになりました。みんなと一緒にできることが楽しかったです。ぼくはいろいろな道具の名前や使い方をおしえてもらったりしました。ですが雨が降っていた畑は土がぬれていてくつがよごれて雨の日の次の畑はいやでした。ですが、良かったこともあります。もちつきやクリスマスのケーキが楽しかったです。いつのまにかどんどん生徒が増えて、青葉と若葉の二つのグループに分けられました。二つのグループは楽しそうにやっています。ぼくが作った野菜をお母さんにあげるとうれしそうでした。



畑はとっても楽しい所

岸下 拓磨

ぼくが畑に行って良かったなと思うことがいくつかあります。まず、とった野菜を持って帰れる所です。自分達が育てた野菜を持って帰れるのでとてもうれしいです。そして大根がとっても大きく、余りの大きさに最初はびっくりしました。そして12月にはケーキがあります。1月には本物のうすときねで餅つきができます。ぼくは初めて本当にもちをついたので楽しかったし、そのもちを食べるのでとてもおいしいです。ぼくは家では全く飲んだ事がないのですが、畑で飲んだしそジュースがとてもおいしかったんです。初めは色がすごくて飲まずきらいだったけど、飲んでみると意外においしかったので、次から、たくさん飲もうと思いました。畑はとっても楽しい所なのでぜひ来てみて下さい。



採れたて作物はおいしい！！

山内 陸大

ぼくはすくすくでたがやしかたや収穫の仕方を教わりました。すくすくは自分で作った野菜を家に持ってかえることができるのでうれしいです。しかも、収穫したばかりの作物をその場で食べることができるので、採れたての作物がおいしいです。

ぼくがすきなのは、寄せ植えです。植える植物の種類もけっこう多いです。完成した寄せ植えは家に持ち帰れるからうれしいです。

きょうみのある人はぜひ来てみてください！！



＊ ＊ 「わくわく♪ファーム宝塚」 ＊ ＊ 土に触れ収穫を楽しむ畑として開設3年目。遊びのひろばも併設されてゆっくり遊ぶことができます。春はじゃがいも玉ねぎ 秋はさつまいも大根など延べ1000人が収穫に訪れました。

大きなおいもが採れたよ！

社会福祉法人愛和会 なかよし保育園
園長 堀越 千都

10月22日に、コスモス満開のわくわくファーム宝塚でおいも掘りをさせていただきました。3,4,5歳児が天神川の川沿いをてくてく歩いて、わくわくファームに到着。待ちきれない様子で荷物を置いて軍手をはめて、クラスごとにおいも畑に入り、さっそく掘り始めました。大きなおいもに歓声を上げたり、土の中から虫が出てきて大騒ぎしたりしながらわくわくファームの方々もたくさん手伝ってくださり、大小さまざまな大きさや形のさつまいもが掘れ、「おいも出てきたよ～」「こんなに大きいのが掘れたよ！」と大喜びでした。



今回は急なお願いにも関わらず、快く利用させていただき、感謝です。当日もたくさんの方々に見守られ、お手伝いいただき地域の中で子どもたちが育っていることを実感することができました。春には玉ねぎ掘りもできるということで、5歳児が体験させていただこうと思っています。また、いつでも遊びに来ていいよとお声をかけていただき保育園からもちょうどお散歩にもってこいの距離ですので、お弁当などにも利用させていただきたいと思います。



子どもたちが苗を植え付け・収穫は家族で



サツマイモは蒸かし芋干し芋、大学芋に姿を変えてクラブで子ども達のおやつに・・・おいしい！と大好評

NPO 法人長尾すぎの子クラブ

親の会会長 門田 弘子

長尾すぎの子クラブの子ども達は、毎年ピクニックでゆうゆうガーデンへ行かせていただいています。笑顔溢れる写真を観たり子どもやスタッフから話を聞いたりしていたので、親はゆうゆうガーデンにとっても興味がありました。

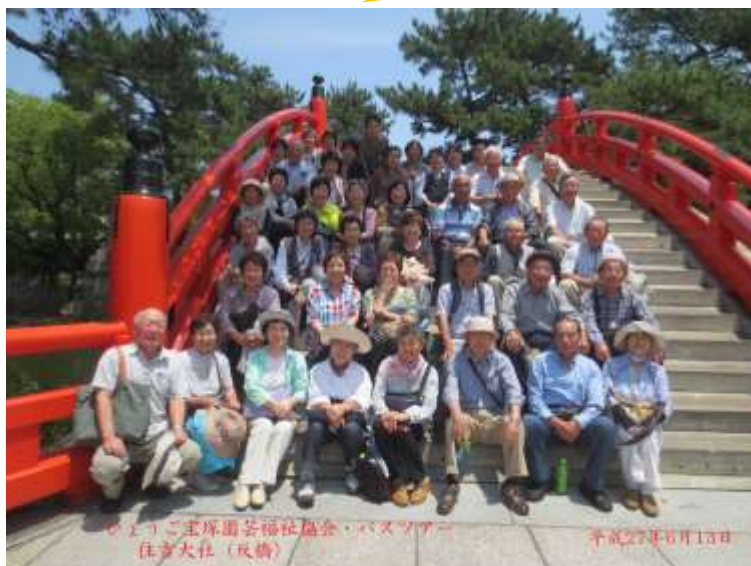
昨年6月20日第三土曜日保育時に子ども達はわくわくファームにサツマイモ苗を植え付けしました。それは宝塚園芸福祉協会の方々のご理解とご協力を得て専用の畝を借りることが出来たからです。そのさつまいもの収穫に親の会も行くことになり、保護者も初めてゆうゆうガーデンやわくわくファームに行くことが出来ました。

11月15日(日)畝から出ている葉は青々と茂り、シャベルを使ってほぐした土の下から大きなさつまいもがゴロゴロ。「わあすごい！！」と思った瞬間、たくさんの元気な虫たちにも遭遇。それを素手で触る子ども達。決して大規模ではない畑にはシャボン玉やボール投げなどいろんなものがありました。まるでドラえもののポケットのよう。いつも子ども達に財産となるたくさんの体験有難うございます。今回は保護者も数年ぶりのさつまいも掘りで童心にかえって楽しませていただきました。宝塚園芸福祉協会の皆様に心より感謝致します。

園芸福祉シンポジウムに参画

日本園芸福祉普及協会理事の石神洋一氏が実行委員長となり、近畿圏エリアの協力団体に園芸福祉シンポジウム実行委員会に参加してほしいと呼びかけがありました。

金岡・立川で住吉公園事務所での実行委員会に数回出席、前日は前田・田路・盛永理事も加わって体育館の準備に汗を流しました。当日は宝塚園芸福祉協会のバスツアーに40名が参加。午前中は大阪のシンボル通天閣の散策、午後は一同でシンポジウムに参加し、園芸福祉を理解する機会を得て、住吉大社にも参拝、有意義な1日でした。



当日、参加者の受付業務の為早めに集合場所にいくと、バスが着いてないのに大半の人が来ています。どうしてですかと聞きますと若いころ行ったきり、ン十年ぶりの「ソース二度漬け禁止」と「コテコテの大阪」に会える。別のご婦人は、「大阪新世界」一度は是非と思ってたが機会がなくて今回大変嬉しいと、バス車内でも皆さん小学生の遠足のようにワクワク、どきどきの笑顔でした。 バス引率担当：斉藤

園芸福祉シンポジウムに参加して

田中 敏夫

今年の園芸福祉シンポジウムは6月13日(土)大阪市の住吉公園体育館で午後から開催され、宝塚園芸福祉協会もバス1台で参加しました。その日の午前中は通天閣に登り、大阪の街を眺めました。その後ジャンジャン横丁を散策し、昼食に串カツを食べ、午後から始まるシンポジウムに参加しました。

シンポジウムは、最初に、東京農業大学名誉教授・進士五十八氏より基調講演があり、

- (1) 地域自然の推進(生物多様性)
- (2) 地域社会の推進(生活多様性)
- (3) グローバル経済と定住性(経済多様性)
- (4) 地域環境の多様性(景観多様性)

についての講演があり、園芸福祉活動は、皆が同じではなく、違っていいのだという発想で取り組んでいくことの重要性が述べられました。宝塚園芸福祉協会が日常的に取り組んでいる活動は、まさにこのことであると再認識しました。

次に①公園関係②教育関係③病院関係④地域活動関係⑤農業関係の五つの分野からの実践報告があり、宝塚園芸福祉協会から立川副理事長が①ゆうゆうガーデン②楽農すくすく塾③わくわくファーム宝塚の活動内容について実践報告を行い、それぞれの活動が身体を動かし土に触れ、人と触れ合える場になっていること、さらに参加する人が、満足感・充実感を得られるという点を強調された実践報告がなされました。後半のグループディスカッションには、時間の関係で理事長副理事長他が参加し、他の会員は帰路住吉大社を参拝して宝塚へ帰りました。



宝塚園芸福祉協会ゆうゆうガーデン&わくわくファーム宝塚の見取り図



長尾町の遊休農地を拝借して活用しています。少しずつ隣接地の管理面積が増えています。持ち主一人で管理できない植木畑を地域活動として有効に使い、双方に喜びをもたらせています。ゆうゆうガーデンは第三ガーデンまで広がり、メンバーは植木の根っこ取りに汗をかきました。この春ジャガイモ畑へと姿を変えます。わくわくファーム宝塚は収穫体験型農園ですが、管理地が増えたところは イチジク 山椒 ブルーベリー ユズなど果物系を植えようと計画中です。近くの大型保育園の需要に応じてサツマイモ畑を増やし、併設する {遊びのひろば} を児童館や子育てグループに自己責任で自由に遊んでもらう居場所にしていきます。

平成28年度総会のお知らせ

* 出欠は返信用ハガキにて4月10日必着

日時	平28年4月24日(日)	13:30~16:30
場所	宝塚市共同利用施設中山寺会館(阪急中山観音下車徒歩2分 中山寺山門前)	
内容	総会	27年活動収支決算報告 13:30~14:30
		社員総会報告&審議
		28年度活動計画予算案
交流会	各人の近況報告等	14:40~16:30

フォーグリーンだより 11号をお届け致します。

園芸福祉活動を始めて何時の間にか10年ひと昔の幸せな時が過ぎていました。

家庭環境、健康状態などそれぞれに変化しつつ、みんなで年輪を重ねました。

「♪笑顔で畑で会いましょう(^_^)」を合言葉に、これからの年月を大切に進みたいと感じています。今後共ご指導ご協力をよろしくお願い致します。

編集：特定非営利活動法人ひょうご宝塚園芸福祉協会事務局 立川

665-0861 宝塚市中山寺3-1-14 電話&FAX 0797-86-0619